




経済産業省の取組

2014年9月

経済産業政策局 産業人材政策室

キャリア教育関連

産業界ニーズに適合した人材育成に向けて
各種政策を推進

- 
1. 高等教育における社会人基礎力育成の浸透
 2. インターンシップ促進
 3. 産学協働によるキャリア教育の推進

インターンシップの推進

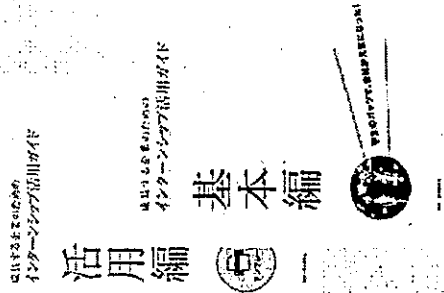
産学協働による実践教育の強化・拡大に向けて、文部科学省、厚生労働省、厚生労働省と協働でインターンシップ事業を推進。

インターンシップの「量」の拡大と同時に、人材の成長の場に高めるための「質」の強化が求められており、先進事例、受入のあり方やツール等、全体の枠組み作りに関わる他、産業界の参加を促進するための調査・研究および普及を行っている。

インターンシップの推進に当たっての基本的考え方

平成9年9月18日
平成26年4月8日一改正
文部科学省
厚生労働省
経済産業省

- 1 大学等におけるインターンシップとは何か
大学等におけるインターンシップ（以下、「インターンシップ」という。）とは、一般的には、学生が企業等において実習・実務的な経験を積むことであるが、インターンシップが広範囲に行われているアメリカにおいては、大学のイニシアチブの付随、短期期間、実施形態等によってインターンシップと称するかどうかを区分する場合もあるとされている。
一方、我が国においては、インターンシップについては、「学生が在学中に自らの専攻、専長のカリキュラムに関連した就業体験を行うこと」として幅広くとらえられている。
- 2 インターンシップの意義
インターンシップは、学生を送り出す大学等、これを体験する学生、学生を受け入れる企業等それぞれによって、様々な意義を有するものであり、それぞれの側において積極的に対応していくことが望まれる。
①大学等及び学生にとっての意義
○ カリキュラム教育・専門教育としての意義
大学におけるキャリア教育・専門教育を一層推進する観点から、インターンシップは有効な取組である。
○ 教育内容・方法の改善・充実



- 成長する企業のためのインターンシップ活用ガイド
「産学連携によるインターンシップのあり方に関する調査」(H24) 企業におけるインターンシップの実践事例やその推進のポイント、有識者研究会で検討した内容等を掲載。
- 教育的効果の高いインターンシップ実践のためのコーディネーターガイドブック
「教育的効果の高いインターンシップの普及に関する調査」(H25) 専門人材に求められる役割と機能を整理し、具体的な実施・運用方法について掲載。

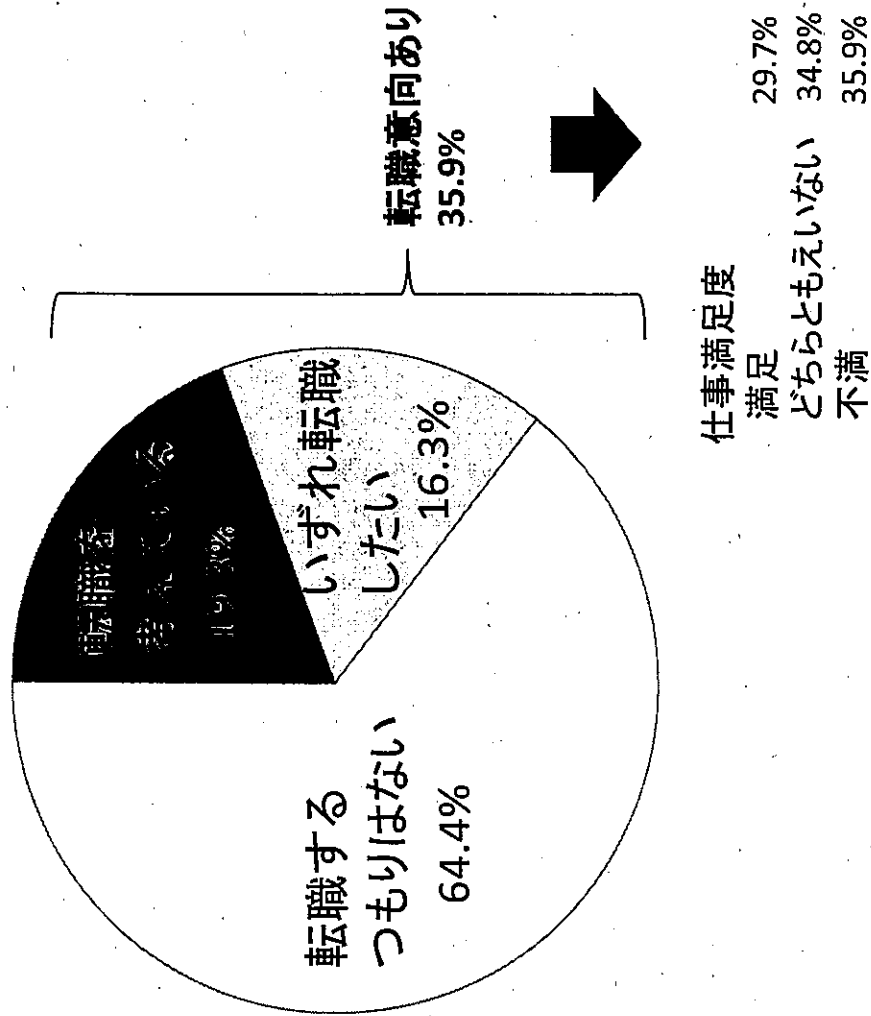
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
10	10	10	10
11	11	11	11
12	12	12	12
13	13	13	13
14	14	14	14
15	15	15	15
16	16	16	16
17	17	17	17
18	18	18	18
19	19	19	19
20	20	20	20
21	21	21	21
22	22	22	22
23	23	23	23
24	24	24	24
25	25	25	25
26	26	26	26
27	27	27	27
28	28	28	28
29	29	29	29
30	30	30	30
31	31	31	31
32	32	32	32
33	33	33	33
34	34	34	34
35	35	35	35
36	36	36	36
37	37	37	37
38	38	38	38
39	39	39	39
40	40	40	40
41	41	41	41
42	42	42	42
43	43	43	43
44	44	44	44
45	45	45	45
46	46	46	46
47	47	47	47
48	48	48	48
49	49	49	49
50	50	50	50

- インターンシップの受入に活用できる各種標準書式
「教育的効果の高いインターンシップの普及に関する調査」(H25)
・エントリーシート
・条件確認書・誓約書
・目標設定・プロセス管理・振返りシート
・企業フィードバックシート 他

多様な「人活」支援サービス創出事業

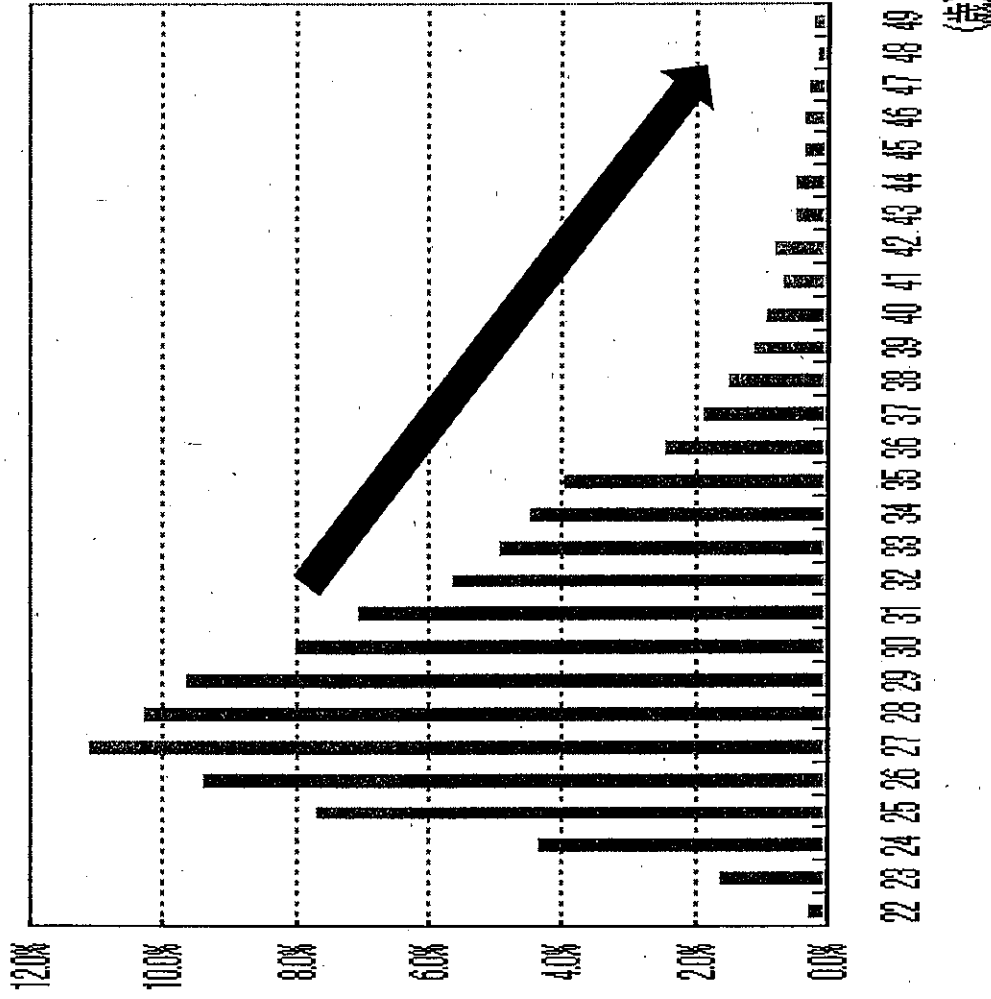
ミドル層の転職の現状

45～54歳の正社員の転職意向 (規模1000人以上)



注) N=539
出所)リクルートワークス研究所
『ワーキングパーソン調査』(2010年)

<転職者の年齢>



注) N=8000
出所) 某人材紹介事業者(求人広告による転職サイト)による
5 転職で成功した8000人に聞いた転職事情(2010年)

多様な「人活」支援サービス創出事業

平成27年度概算要求額 2.6億円(2.9億円)

事業の内容

事業の概要・目的

○我が国では産業構造の転換が重要な課題となっており、経済成長や雇用の確保を図りつつこれに対応するためには、スキルと経験を持つ社会人が成長分野で活躍し、更なる価値創造を図ることが不可欠です。

○しかし、そのような人材が実際に活躍した成功事例がほとんどないことや成長分野の人材ニーズを的確に把握出来ない等様々な課題があることから、現状の民間ビジネスはこうした人材の流れを促す役割を果たせていません。このため、スキルと経験を持つ社会人が成長分野で活躍するために必要な再教育・マッチングを一体的に行うサービス(「人活」支援サービス)を提供する産業の創出・振興が必要となります。

○このため、本事業において、再教育・マッチングのプログラムの開発や、同プログラムを受講した人材が実際に成長分野で働く実証等を実施し、成長分野での人材活用のご事例の組成・普及等により「人活」産業の創出・振興を図ります。

条件(対象者、対象行為、補助率等)

国

委託

民間企業等

事業イメージ

スキルと経験を持つ層

企業の中堅人材等

- 金融、コンサル、商社など、海外進出に必要な能力を持つ人材
- 工程管理・品質管理スキルを有する管理職
- 大企業内で経理・財務・営業・人事マネジメント等を担当していた人材
- 資格持ち等

成長分野

グローバル展開企業
(中小企業、サービス業)

健康長寿
ヘルスケア・子育て産業

環境、エネルギー産業

IT・クリエイティブ産業

創業期・第三創業期企業等

「人活」支援サービスの創出・振興が必要

成長分野の事業者の人材ニーズに適合した再教育・マッチングのプログラムをPDCAサイクルを回しながら開発・実証

STEP① 分野ごとに異なる成長分野で必要とされる適性、スキルの明確化

STEP② 成長分野に必要なマインドやスキルに係る再教育プログラムの開発(マインドリセット、スキル・経験の汎用化等を含む)

STEP③ 再教育プログラム受講者の成長分野の事業者での就労

STEP④ 受講者の活躍状況の検証及び再教育プログラムへの反映